

「遠隔授業の有効性と課題」に関する調査アンケート：教員向け 集計結果（学外公開用）

神奈川大学 教育支援センター

【調査の概要】

調査の趣旨：

新型コロナウイルス感染拡大防止のために実施している2020年度前学期の遠隔授業について、その有効性と課題を探るため、各教員の担当授業の運営状況に関するアンケート調査を実施した。本アンケート調査は、2020年度後学期授業の実施方法の検討、また遠隔授業におけるFD活動の検討にも活用する。

調査対象：

【教員】専任教員、非常勤講師

調査方法：

- ・ WeBSt@tionのアンケート機能(回答・集計含む)による調査
- ・ 無記名での回答とする(ただし所属学部・学科、職位、学年のみ回答必須とする)
- ・ 1人1回のみ回答可、ただし期間中の再回答(修正)を可とする

調査期間：

- ・ 2020年6月25日(木)～7月6日(月)

【集計の概要】

- ・ 教員回答数:536名 (対象者1534名: 34.94%)
- ・ 自由記述では、主に各設問の選択肢に用意していない記述について、7つのカテゴリーに分けてピックアップした

【主な傾向】

- ・ 問2:回答割合として、専任教員が約40%、非常勤講師が約60%。
- ・ 問5～:授業に使ったツールは、自由回答も多く、多岐にわたる。
- ・ 問15:授業準備は、「かなり増えた」「増えた」が約85%を占める。
- ・ 問16:対面と比べて実感していることは、「学生のリアクションの確認」「コミュニケーション」「GW・議論」の評価が低く、「資料の配布」「学生の課題の提出」「授業理解」「問題なく授業を開講できる」の評価が高い。
- ・ 問17:遠隔授業をカリキュラムへ取り入れるべきかについては、「講義」の評価が約50%と高いが、「語学」「演習」「実験・実習」につれ次第に評価が下がっている。
- ・ 自由記述の傾向として、「通勤時間・場所を選ばない」「学生の出席率向上」「真面目な学生には良い環境」「学生対応・教材作成の負担増」「ICTツールの知識不足の反省」「LMSへの課題」という回答が目立ち、「対面でない」と授業できないのほうが「思っていたよりも遠隔で授業できる」より上回っている。

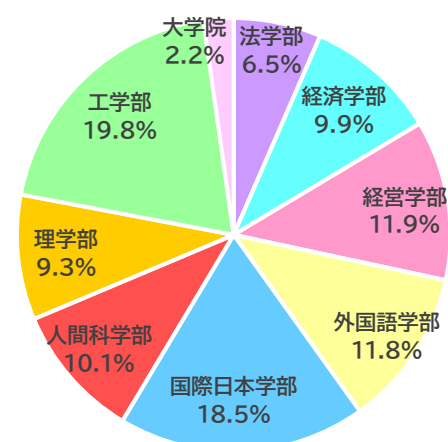
問.1 ご所属の学部・学科を教えてください。

(単一回答)		
	回答数	%
全体	536	100%
法学部法律学科	25	4.7%
法学部自治行政学科	10	1.9%
経済学部経済学科	40	7.5%
経済学部現代ビジネス学科	13	2.4%
経営学部国際経営学科	64	11.9%
外国語学部英語英文学科	33	6.2%
外国語学部スペイン語学科	19	3.5%
外国語学部中国語学科	11	2.1%
国際日本学部国際文化交流学科	77	14.4%
国際日本学部日本文化学科	11	2.1%
国際日本学部歴史民俗学科	11	2.1%
人間科学部人間科学科	54	10.1%
理学部数理・物理学科	14	2.6%
理学部情報科学科	7	1.3%
理学部化学科	14	2.6%
理学部生物科学科	15	2.8%
工学部機械工学科	12	2.2%
工学部電気電子情報工学科	15	2.8%
工学部物質生命化学科	17	3.2%
工学部情報システム創成学科	8	1.5%
工学部経営工学科	12	2.2%
工学部建築学科	16	3.0%
工学部各種教室系	26	4.9%
法学研究科	1	0.2%
経済学研究科	0	0.0%
経営学研究科	2	0.4%
外国語学研究科	1	0.2%
人間科学研究科	3	0.6%
理学研究科	1	0.2%
工学研究科	1	0.2%
歴史民俗資料学研究科	3	0.6%

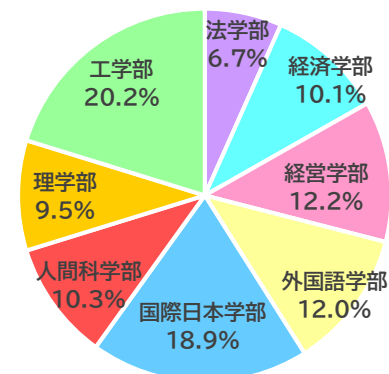
各学部・大学院の割合

	回答数	%
全体	536	100%
法学部	35	6.5%
経済学部	53	9.9%
経営学部	64	11.9%
外国語学部	63	11.8%
国際日本学部	99	18.5%
人間科学部	54	10.1%
理学部	50	9.3%
工学部	106	19.8%
大学院	12	2.2%

各学部・大学院の割合



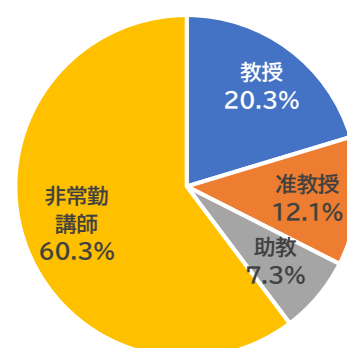
学部の割合



問.2 職位を教えてください。

(単一回答)		
	回答数	%
全体	536	100%
教授(特任、外国人特任を含む)	109	20.3%
准教授(特任、外国人特任を含む)	65	12.1%
助教(特任、外国人特任、特別を含む)	39	7.3%
非常勤講師	323	60.3%

職位の割合

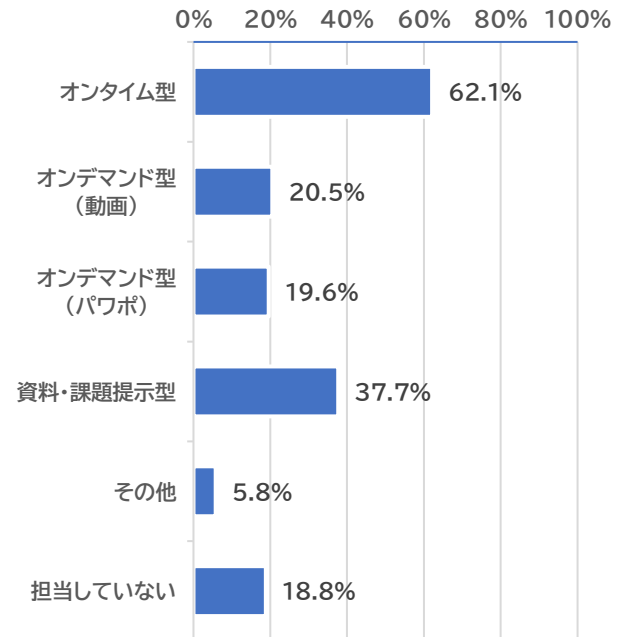


問3～5については、ご担当されている「講義科目」の中で主たる科目を念頭にご回答ください。

問.3 講義科目について、遠隔授業をどのように実施しましたか。

	(複数回答)	
	回答数	%
全体	882	
オンタイム型(ZOOM)	333	62.1%
オンデマンド型(動画・音声収録)	110	20.5%
オンデマンド型(パワーポイント動画)	105	19.6%
資料・課題提示型(資料・文献提示、レポート課題)	202	37.7%
その他(自由回答)	31	5.8%
担当していない	101	18.8%

【講義】授業実施方法の割合



- ・ オンタイム・オンデマンド混合型 8
- ・ パワーポイント 5
- ・ Google Form or MS Forms 5
- ・ MS Teams 4
- ・ 8月以降に実施 3
- ・ 課題へのフィードバックをラジオ配信 1
- ・ 面接 1
- ・ 受講学生からのチャットに即答する 1

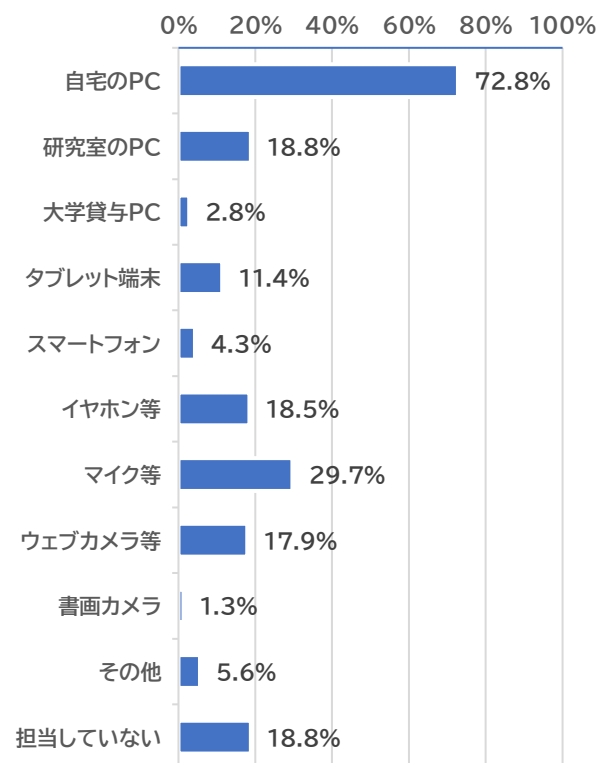
- ・ 自己学修の時間(約40～50分)を設けている 1
- ・ グループディスカッション 1
- ・ その他 4

問.4 講義科目では、どのような機器を使用して遠隔授業を実施しましたか。

※授業準備も含めてご回答ください。

	(複数回答)	
	回答数	%
全体	1082	
自宅のPC	390	72.8%
研究室のPC	101	18.8%
大学から貸与されたPC(非常勤講師のみの選択肢)	15	2.8%
iPadなどタブレット端末	61	11.4%
iPhoneなどスマートフォン	23	4.3%
イヤホン・ヘッドホン	99	18.5%
マイク・ヘッドセット	159	29.7%
ビデオカメラ・ウェブカメラ	96	17.9%
書画カメラ	7	1.3%
その他(自由回答)	30	5.6%
担当していない	101	18.8%

【講義】使用機器の割合



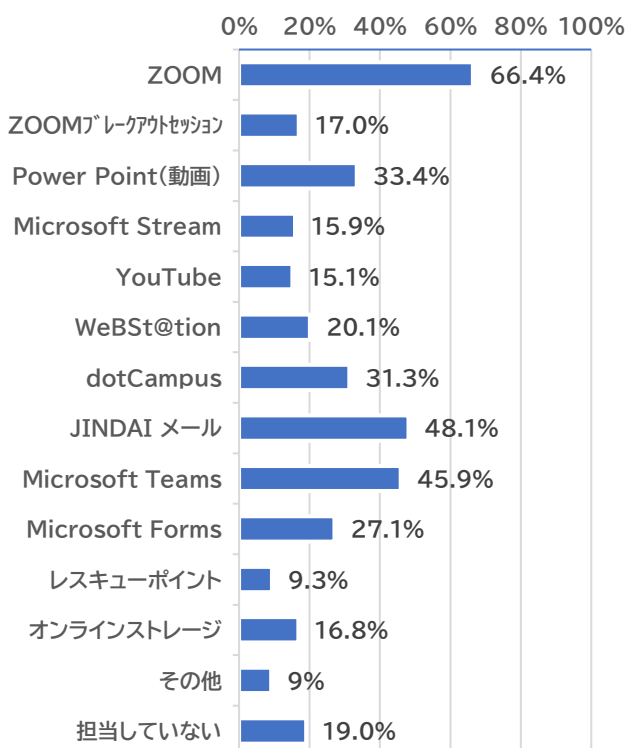
- ・ Wacom Intuos
- ・ スイッチャー
- ・ スキャナー
- ・ スピーカー
- ・ デジタルペーパー
- ・ デジタル一眼レフカメラ
- ・ ペンタブレット

- ・ ホワイトボード、マーカー
- ・ 会社PC
- ・ 三脚

問.5 講義科目では、どのようなツールを使用して遠隔授業を実施しましたか。

	(複数回答)	
	回答数	%
全体	2008	
ZOOM	356	66.4%
ZOOMブレイクアウトセッション	91	17.0%
Power Point(動画配信)	179	33.4%
Microsoft Stream	85	15.9%
YouTube	81	15.1%
WeBSt@tion	108	20.1%
dotCampus	168	31.3%
JINDAI メール	258	48.1%
Microsoft Teams	246	45.9%
Microsoft Forms	145	27.1%
レスキューポイント(Google Sites)	50	9.3%
OneDrive、Google Drive等のオンラインストレージ	90	16.8%
その他(自由回答)	49	9%
担当していない	102	19.0%

【講義】使用したツールの割合



その他

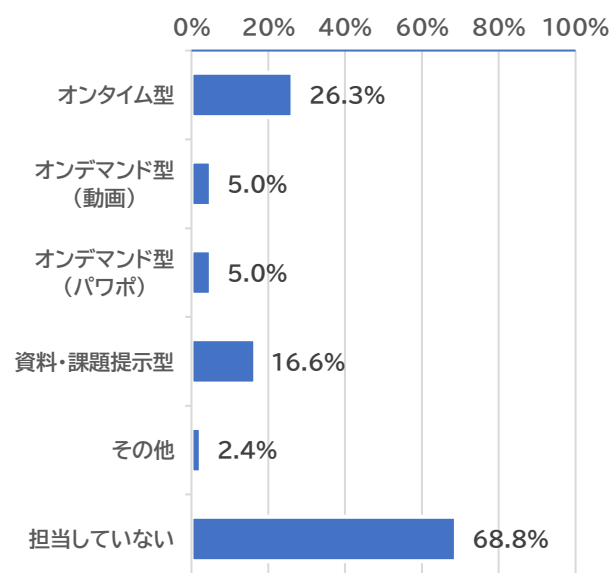
- Adobe Acrobat
- ChemDraw, Word
- Dropbox Paper
- Dropbox, Google form
- DVD
- e-mail 対応
- email
- gmail
- Google Classroom
- Google Document, Google Form
- google slide
- Lineオープンチャット
- quizizz, Kahoot
- Slack
- Twitter(レスキューポイント)・OneNote
- Vimeo
- XsplitVcam(バーチャル背景ソフト)
- ワードで作成した講義資料
- 個人のサイト、個人のWebSite、Jamboard, MIRO など

問6～問8については、ご担当されている「語学科目」の中で主たる科目を念頭にご回答ください。

問.6 語学科目について、遠隔授業をどのように実施しましたか。

	(複数回答)	
	回答数	%
全体	666	
オンタイム型(ZOOM)	141	26.3%
オンデマンド型(動画・音声収録)	27	5.0%
オンデマンド型(パワーポイント動画)	27	5.0%
資料・課題提示型(資料・文献提示、レポート課題)	89	16.6%
その他(自由回答)	13	2.4%
担当していない	369	68.8%

【語学】授業実施方法の割合



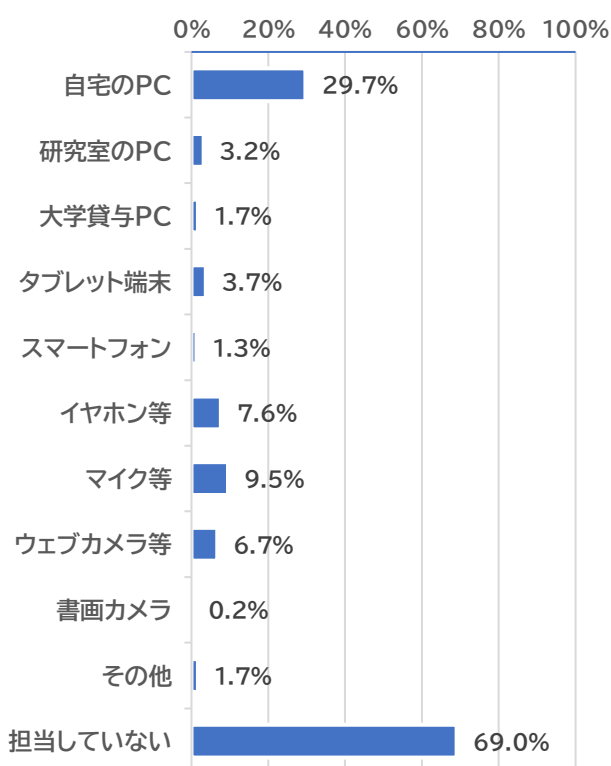
- dotcampusでの試験
- e-learning教材(アルク社 NetAcademy NEXT)
- emailでのやり取り
- Googleフォームによるクイズとその解説
- オンデマンド1/2+オンタイム1/2
- オンラインディスカッション (Teams)
- オンライン学習帳
- テキスト会社学習サイト
- 小テスト

問.7 語学科目では、どのような機器を使用して遠隔授業を実施しましたか。

※授業準備も含めてご回答ください。

	(複数回答)	
	回答数	%
全体	720	
自宅のPC	159	29.7%
研究室のPC	17	3.2%
大学から貸与されたPC(非常勤講師のみの選択肢)	9	1.7%
iPadなどタブレット端末	20	3.7%
iPhoneなどスマートフォン	7	1.3%
イヤホン・ヘッドホン	41	7.6%
マイク・ヘッドセット	51	9.5%
ビデオカメラ・ウェブカメラ	36	6.7%
書画カメラ	1	0.2%
その他(自由回答)	9	1.7%
担当していない	370	69.0%

【語学】使用機器の割合

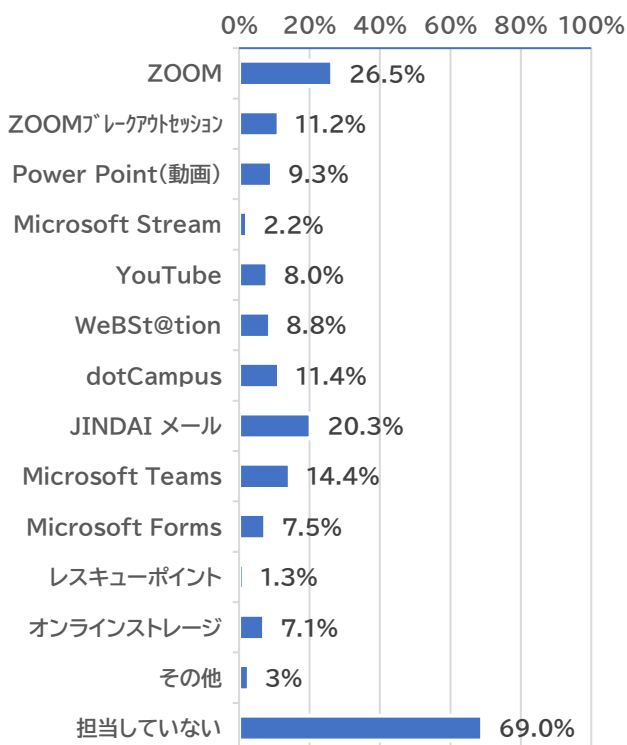


- デジタルペーパー
- ペンタブレット
- macbookにカメラ、マイクなど搭載しており、これだけで済ませ
- パンタブ、DVDPlayer
- 録音・ミキシング用機器類
- Pocket wifi
- ペンタブレット

問.8 語学科目では、どのようなツールを使用して遠隔授業を実施しましたか。

	(複数回答)	
	回答数	%
全体	1071	
ZOOM	142	26.5%
ZOOMブレイクアウトセッション	60	11.2%
Power Point(動画配信)	50	9.3%
Microsoft Stream	12	2.2%
YouTube	43	8.0%
WeBSt@tion	47	8.8%
dotCampus	61	11.4%
JINDAI メール	109	20.3%
Microsoft Teams	77	14.4%
Microsoft Forms	40	7.5%
レスキューポイント(Google Sites)	7	1.3%
OneDrive、Google Drive等のオンラインストレージ	38	7.1%
その他(自由回答)	15	3%
担当していない	370	69.0%

【語学】使用したツールの割合



その他

- LINE
- LINE
- Googleフォームによるクイズとその解説
- Cambridge Learning Management System
- Google forms
- ホワイトボードとマーカー(私物)、Apple Keynote、Quicktime
- Quizizz, Kahoot
- word, power point画面を共有して、板書代わりに文字入力なども
- Keynote
- Google Forms
- Microsoft Wordの画面をZOOMで共用
- Acrobat PowerPoint MediaPlayer 動画編集ソフト プリント スキャナ
- テキスト会社学習サイト
- オンライン学習帳

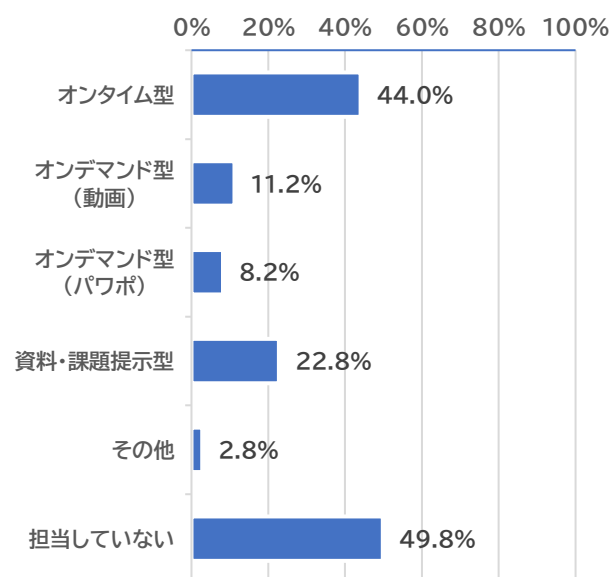
問9～問11については、ご担当されている「演習・実技科目」の中で主たる科目を念頭にご回答ください。

※「演習・実技科目」には、ゼミ・FYSも含まれます。

問.9 演習・実技(ゼミ・FYS含む)科目について、遠隔授業をどのように実施しましたか。

	(複数回答)	
	回答数	%
全体	744	
オンタイム型(ZOOM)	236	44.0%
オンデマンド型(動画・音声収録)	60	11.2%
オンデマンド型(パワーポイント動画)	44	8.2%
資料・課題提示型(資料・文献提示、レポート課題)	122	22.8%
その他(自由回答)	15	2.8%
担当していない	267	49.8%

【演習・実技】授業実施方法の割合



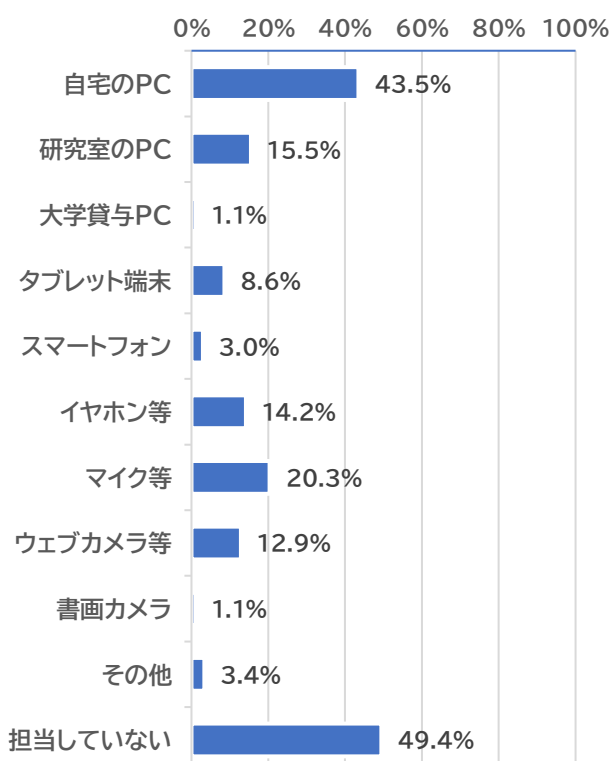
- ・ 8月に実施の予定
- ・ Googleフォームによるリアクションペーパーと翌週のコメント
- ・ Microsoft Teams
- ・ Skype
- ・ zoom+teams
- ・ オンデマンド1/2+オンタイム1/2
- ・ 上の回答+オンタイムにGoogleMeetで質問受け付け

問.10 演習・実技(ゼミ・FYS含む)科目では、どのような機器を使用して遠隔授業を実施しましたか。

※授業準備も含めてご回答ください。

	(複数回答)	
	回答数	%
全体	927	
自宅のPC	233	43.5%
研究室のPC	83	15.5%
大学から貸与されたPC(非常勤講師のみの選択肢)	6	1.1%
iPadなどタブレット端末	46	8.6%
iPhoneなどスマートフォン	16	3.0%
イヤホン・ヘッドホン	76	14.2%
マイク・ヘッドセット	109	20.3%
ビデオカメラ・ウェブカメラ	69	12.9%
書画カメラ	6	1.1%
その他(自由回答)	18	3.4%
担当していない	265	49.4%

【演習・実技】使用機器の割合

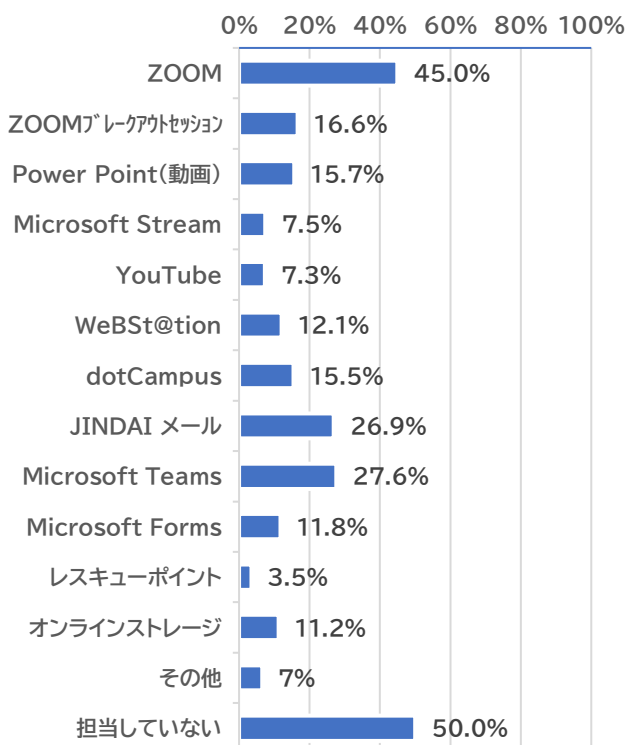


- ・ DVD
- ・ macbookにwebカメラ、マイクが搭載、これのみで実施可能
- ・ TeamViewerにより学生に大学のPCを使い研究を進めている
- ・ Zoom用に個人で購入したモニター(拡張用)
- ・ スイッチャー
- ・ スピーカー
- ・ デジタルペーパー
- ・ ペンタブレット

問.11 演習・実技(ゼミ・FYS含む)科目では、どのようなツールを使用して遠隔授業を実施しましたか。

	(複数回答)	
	回答数	%
全体	1378	
ZOOM	241	45.0%
ZOOMブレイクアウトセッション	89	16.6%
Power Point(動画配信)	84	15.7%
Microsoft Stream	40	7.5%
YouTube	39	7.3%
WeBSt@tion	65	12.1%
dotCampus	83	15.5%
JINDAI メール	144	26.9%
Microsoft Teams	148	27.6%
Microsoft Forms	63	11.8%
レスキューポイント(Google Sites)	19	3.5%
OneDrive、Google Drive等のオンラインストレージ	60	11.2%
その他(自由回答)	35	7%
担当していない	268	50.0%

【演習・実技】使用したツールの割合



その他

- ChemDraw, Kindle
- Class Notebook
- Dropbox Paper
- DVD
- e-mail 対応
- Everlec
- GoodNotes
- Google Meet/Forms
- Googleフォーム
- LINE
- LINE WORKS
- LINE・Twitter(レスキューポイント)・OneNote
- quizizz Kahoot
- Slack
- XsplitVcam(バーチャル背景ソフト)
- サイトス
- ホワイトボードとマーカー(私物)、Apple Keynote、Quicktime
- ワードで作成した資料
- 以前から使用していた自分で作成したサポートページ
- 学生個別に郵送で課題(教育実習校への提出書類)を添削し、返送する。自宅へのメール。
- 個人のWebSite、Jamboard、MIRO など

問12～問14については、ご担当されている「実験・実習科目」の中で主たる科目を念頭にご回答ください。

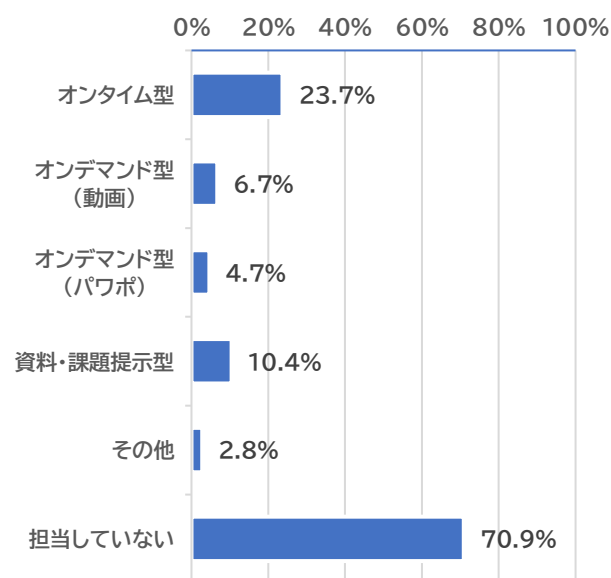
※「実験・実習科目」には、卒業研究も含まれます。

問.12 実験・実習(卒研含む)科目について、遠隔授業をどのように実施しましたか。

	(複数回答)	
	回答数	%
全体	639	
オンタイム型(ZOOM)	127	23.7%
オンデマンド型(動画・音声収録)	36	6.7%
オンデマンド型(パワーポイント動画)	25	4.7%
資料・課題提示型(資料・文献提示、レポート課題)	56	10.4%
その他(自由回答)	15	2.8%
担当していない	380	70.9%

- ・ 電子メール等
- ・ Skype
- ・ 卒論の参考文献や動画DVDなどを学生自宅に郵送
- ・ TeamViewerにて研究室環境を学生の自宅に再現
- ・ 学生が立ち入り禁止で実験の実施が不可能

【実験・実習】授業実施方法の割合



- ・ メールで指導
- ・ Microsoft Teams
- ・ オンライン授業見学、ゲストスピーカー
- ・ 電話による個別指導

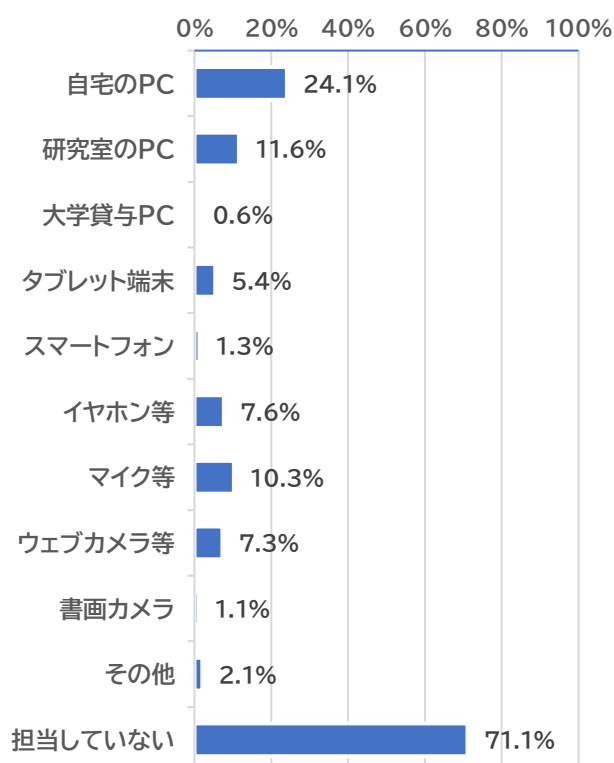
問.13 実験・実習(卒研含む)科目では、どのような機器を使用して遠隔授業を実施しましたか。

※授業準備も含めてご回答ください。

	(複数回答)	
	回答数	%
全体	763	
自宅のPC	129	24.1%
研究室のPC	62	11.6%
大学から貸与されたPC(非常勤講師のみの選択肢)	3	0.6%
iPadなどタブレット端末	29	5.4%
iPhoneなどスマートフォン	7	1.3%
イヤホン・ヘッドホン	41	7.6%
マイク・ヘッドセット	55	10.3%
ビデオカメラ・ウェブカメラ	39	7.3%
書画カメラ	6	1.1%
その他(自由回答)	11	2.1%
担当していない	381	71.1%

- ・ dropbox, Google form
- ・ HDMIキャプチャデバイス
- ・ スピーカー
- ・ デジタルペーパー
- ・ ホワイトボード
- ・ 学生が立ち入り禁止で実験の実施が不可能
- ・ 携帯電話

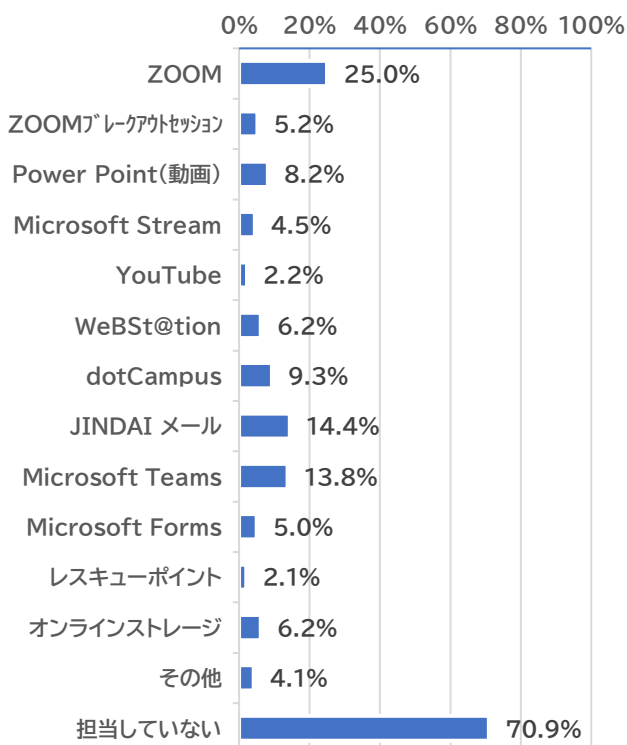
【実験・実習】使用機器の割合



問.14 実験・実習(卒研含む)科目では、どのようなツールを使用して遠隔授業を実施しましたか。

	(複数回答)	
	回答数	%
全体	949	
ZOOM	134	25.0%
ZOOMブレイクアウトセッション	28	5.2%
Power Point(動画配信)	44	8.2%
Microsoft Stream	24	4.5%
YouTube	12	2.2%
WeBSt@tion	33	6.2%
dotCampus	50	9.3%
JINDAI メール	77	14.4%
Microsoft Teams	74	13.8%
Microsoft Forms	27	5.0%
レスキューポイント(Google Sites)	11	2.1%
OneDrive、Google Drive等のオンラインストレージ	33	6.2%
その他(自由回答)	22	4.1%
担当していない	380	70.9%

【実験・実習】使用したツールの割合



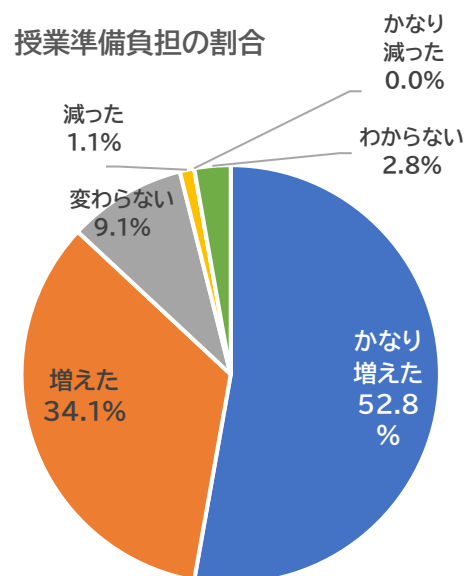
その他

- Dropbox, Googleform
- GoodNotes
- LINE
- LINE、Googleフォーム
- quizizz kahoot
- Slack
- word
- ギャグス
- メール添付ファイルやりとり
- 解説・動画の作成は担当したが、専任の先生に配信はお任せしているため把握できていない
- 学生が立ち入り禁止で実験の実施が不可能
- 自前のwebサーバ
- 大学メール

問.15 平常時の対面授業と比べ、準備を含めた授業の負担は増えたと感じますか。

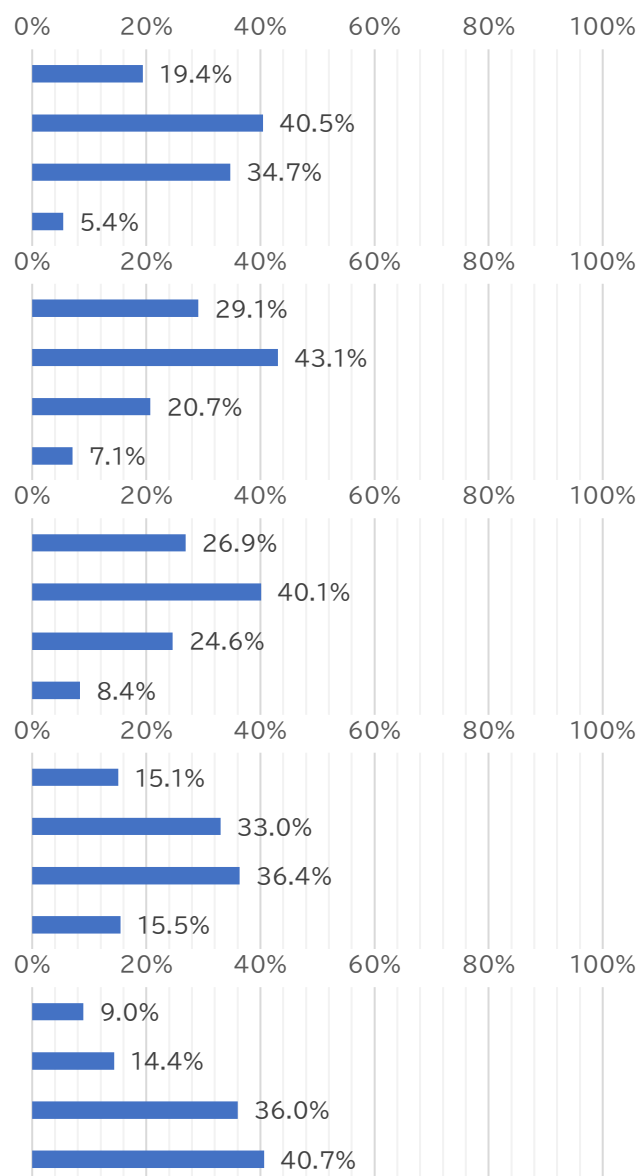
約85%の教員が、対面授業と比べて授業への負担感が増えたと回答している。

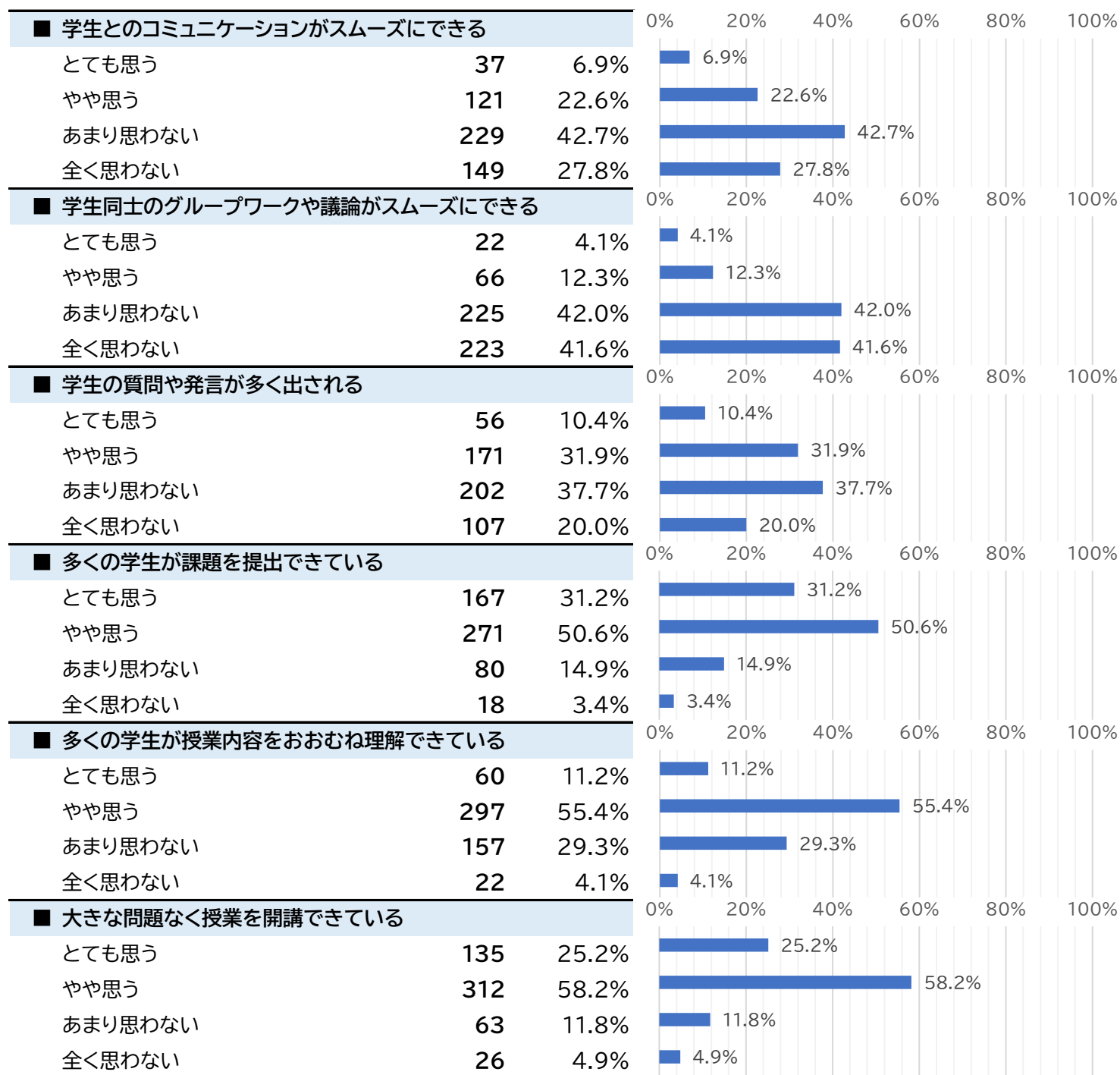
(単一回答)		
	回答数	%
全体	536	100%
かなり増えた	283	52.8%
増えた	183	34.1%
変わらない	49	9.1%
減った	6	1.1%
かなり減った	0	0.0%
わからない	15	2.8%



問.16 平常時の対面授業と比べ、遠隔授業を実施して実感していることを教えてください。

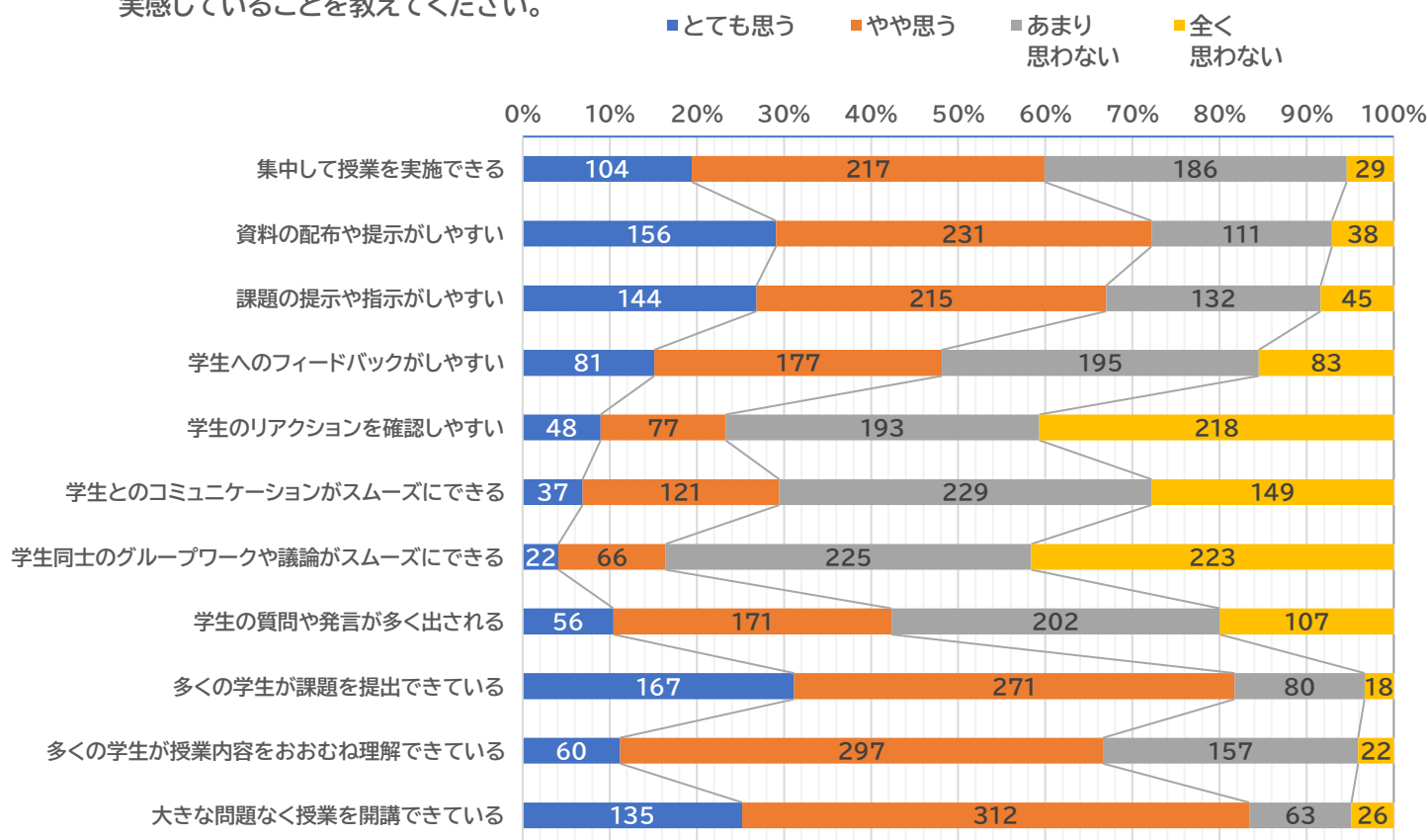
(単一回答)		
	回答数	%
全体	536	100%
■ 集中して授業を実施できる		
とても思う	104	19.4%
やや思う	217	40.5%
あまり思わない	186	34.7%
全く思わない	29	5.4%
■ 資料の配布や提示がしやすい		
とても思う	156	29.1%
やや思う	231	43.1%
あまり思わない	111	20.7%
全く思わない	38	7.1%
■ 課題の提示や指示がしやすい		
とても思う	144	26.9%
やや思う	215	40.1%
あまり思わない	132	24.6%
全く思わない	45	8.4%
■ 学生へのフィードバックがしやすい		
とても思う	81	15.1%
やや思う	177	33.0%
あまり思わない	195	36.4%
全く思わない	83	15.5%
■ 学生のリアクションを確認しやすい		
とても思う	48	9.0%
やや思う	77	14.4%
あまり思わない	193	36.0%
全く思わない	218	40.7%





問16では、特定の授業形態を指定せず、遠隔授業全般で実感していることを通常の対面授業と比較した回答を求めた。比較的肯定的な傾向となったのは、「資料の配布や指示がしやすい」「課題の提示や指示がしやすい」「多くの学生が課題を提出できている」「多くの学生が授業内容をおおむね理解できている」「大きな問題なく授業を開講できている」の5つであった。比較的否定的な傾向となったのは、「学生のリアクションを確認しやすい」「額絵師とのコミュニケーションがスムーズにできる」「学生同士のグループワークや議論がスムーズにできる」の3つであった。

問.16 平常時の対面授業と比べ、遠隔授業を実施して実感していることを教えてください。

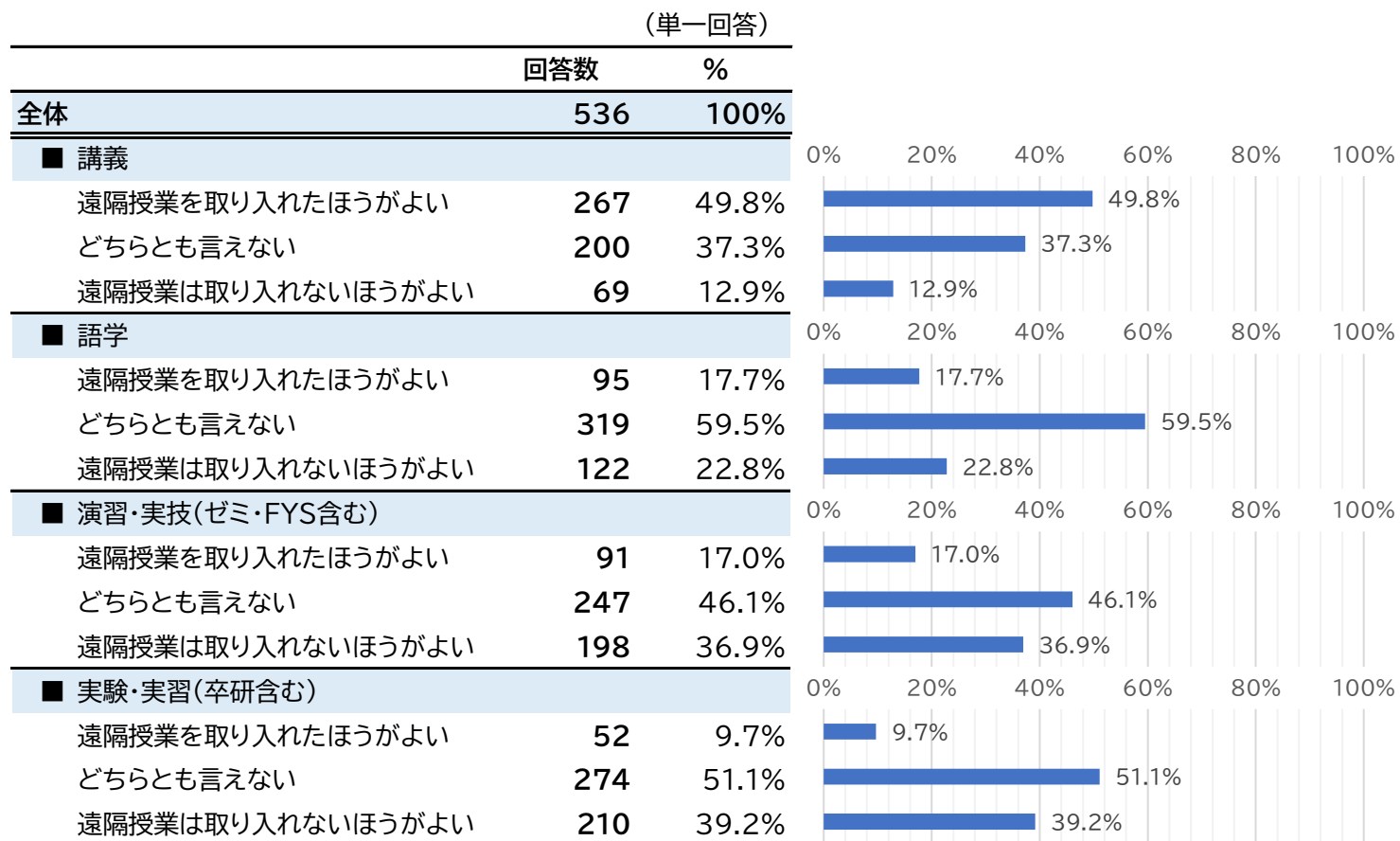


	とても思う	やや思う	あまり思わない	全く思わない	合計
■ 集中して授業を実施できる	104 19.4%	217 40.5%	186 34.7%	29 5.4%	536 100%
■ 資料の配布や指示がしやすい	156 29.1%	231 43.1%	111 20.7%	38 7.1%	536 100%
■ 課題の提示や指示がしやすい	144 26.9%	215 40.1%	132 24.6%	45 8.4%	536 100%
■ 学生へのフィードバックがしやすい	81 15.1%	177 33.0%	195 36.4%	83 15.5%	536 100%
■ 学生のリアクションを確認しやすい	48 9.0%	77 14.4%	193 36.0%	218 40.7%	536 100%
■ 学生とのコミュニケーションがスムーズにできる	37 6.9%	121 22.6%	229 42.7%	149 27.8%	536 100%
■ 学生同士のグループワークや議論がスムーズにできる	22 4.1%	66 12.3%	225 42.0%	223 41.6%	536 100%
■ 学生の質問や発言が多く出される	56 10.4%	171 31.9%	202 37.7%	107 20.0%	536 100%
■ 多くの学生が課題を提出できている	167 31.2%	271 50.6%	80 14.9%	18 3.4%	536 100%
■ 多くの学生が授業内容をおおむね理解できている	60 11.2%	297 55.4%	157 29.3%	22 4.1%	536 100%
■ 大きな問題なく授業を開講できている	135 25.2%	312 58.2%	63 11.8%	26 4.9%	536 100%

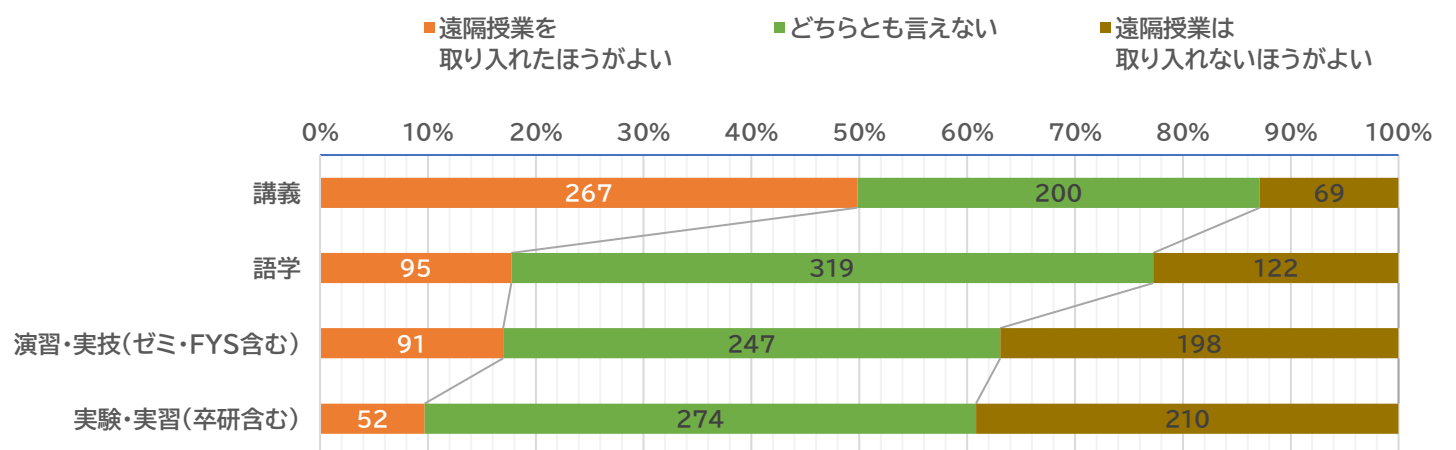
問.17 今後(平常時)もカリキュラムに遠隔授業をある程度取り入れるべきと思いますか。

カリキュラムについては、自学部・自学科あるいは共通教養教育や資格教育課程を念頭にお答えください。

講義科目では約半数の教員から「遠隔授業を取り入れたほうがよい」という回答があったが、「どちらとも言えない」という回答も約1/3の回答があった。語学、演習・実技及び実験・実習科目については、「どちらとも言えない」「遠隔授業は取り入れないほうがよい」の回答が「講義」に比して多くなっている。



問.17 今後(平常時)もカリキュラムに遠隔授業をある程度取り入れるべきと思いますか。



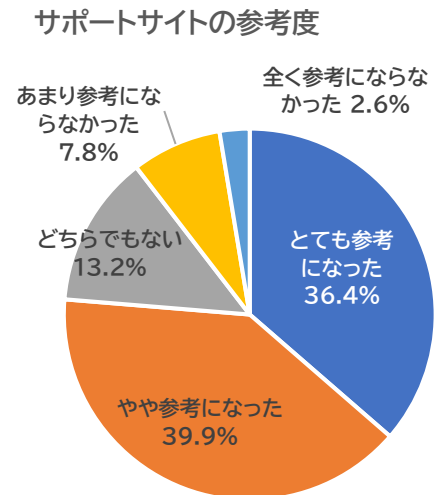
	遠隔授業を取り入れたほうがよい	どちらとも言えない	遠隔授業は取り入れないほうがよい
■ 講義	267 49.8%	200 37.3%	69 12.9%
■ 語学	95 17.7%	319 59.5%	122 22.8%
■ 演習・実技(ゼミ・FYS含む)	91 17.0%	247 46.1%	198 36.9%
■ 実験・実習(卒研含む)	52 9.7%	274 51.1%	210 39.2%

問.18 「【教職員用】遠隔授業サポートサイト」は参考になりましたか。

約75%の教員が「参考になった」と回答している。

(単一回答)

	回答数	%
全体	536	100%
とても参考になった	195	36.4%
やや参考になった	214	39.9%
どちらでもない	71	13.2%
あまり参考にならなかった	42	7.8%
全く参考にならなかった	14	2.6%



問.19～問.20では、「遠隔授業を実施して、良かったと感じる点」「遠隔授業に関する困ったこと」について、300字以内での自由記述による回答を設けた。記述内容として、主に以下の7つのカテゴリーに関するご意見等が寄せられた。

1. 遠隔授業におけるハードウェア・ソフトウェア等に関すること(ネット環境に関することを含む)
2. 教員や他の履修者とのコミュニケーションに関すること
3. 成績評価・試験・出席・課題に関すること
4. 遠隔授業がもたらした効果・弊害・負担等(通学に関することを含む)
5. 大学への意見・要望
6. コロナ(COVID-19)への懸念・所感、今後のことについて
7. その他

この自由記述の分析については、フリー・ソフトウェアである「KH Coder」を用いてテキストマイニングを行い、頻出語リストと共起ネットワーク※を次のように示した。なお、個別の記載内容は非公開とする。

※共起ネットワーク：出現数が多い語を円で、共通に出現すること(共起)が多い語を線で結んでいる。
円の大きさは語の出現数を示している。
色は比較的強く結びついている語をグループ分けしている。

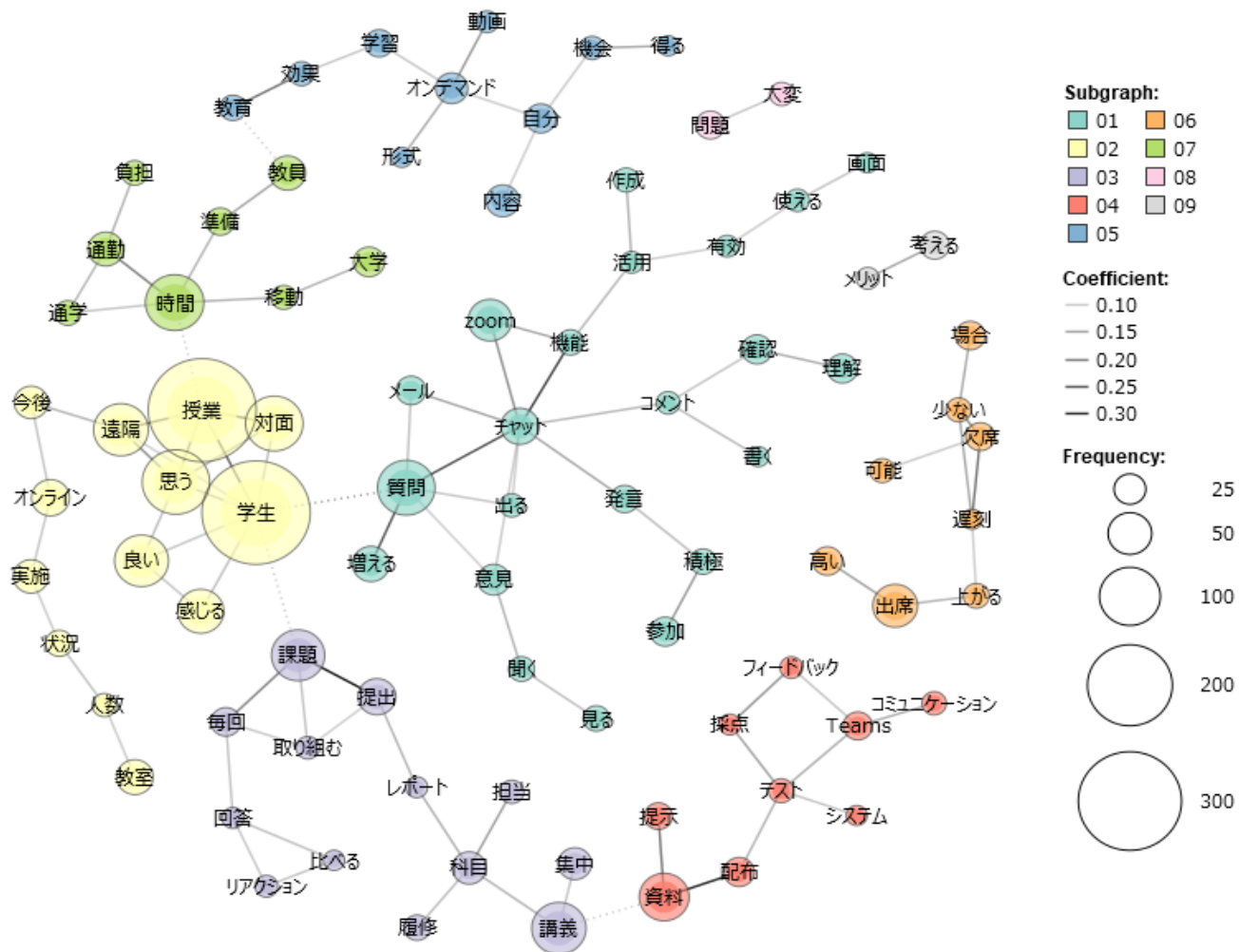
問.19 その他、遠隔授業を実施して、良かったと感じる点について、ご意見等ありましたらお書きください。(300字以内)

問19「遠隔授業を実施して、良かったと感じる点」への自由記述では、392件の回答があった。次の【表1】【図1】のように、「通勤時間・場所を選ばない」「学生の出席率向上」「真面目な学生には良い環境」という回答が多く寄せられた。

【表1】 問19「遠隔授業を実施して、良かったと感じる点」への自由記述の頻出語リスト

順位	語	出現数	順位	語	出現数	順位	語	出現数	順位	語	出現数
1	学生	331	16	チャット	37	31	行う	24	46	Teams	21
2	授業	329	17	提出	37	32	大学	24	47	欠席	21
3	思う	124	18	増える	35	33	利用	24	48	考える	21
4	時間	92	19	教室	34	34	確認	23	49	問題	21
5	質問	89	20	教員	33	35	参加	23	50	学習	20
6	対面	89	21	通勤	32	36	使う	23	51	準備	20
7	遠隔	80	22	実施	31	37	自分	23	52	発言	20
8	講義	79	23	受講	31	38	特に	23	53	感染	19
9	良い	78	24	科目	29	39	配布	23	54	提示	19
10	課題	76	25	今後	29	40	理解	23	55	状況	18
11	資料	66	26	集中	28	41	メール	22	56	対応	18
12	感じる	56	27	多い	28	42	高い	22	57	機能	17
13	出席	53	28	内容	28	43	場合	22	58	教育	17
14	zoom	50	29	オンデマンド	26	44	通常	22	59	見る	17
15	オンライン	37	30	意見	26	45	毎回	22	60	積極	17

【図1】 問19「遠隔授業を実施して、良かったと感じる点」への自由記述の共起ネットワーク



回答数:392件 (個別の記載内容は非公開)

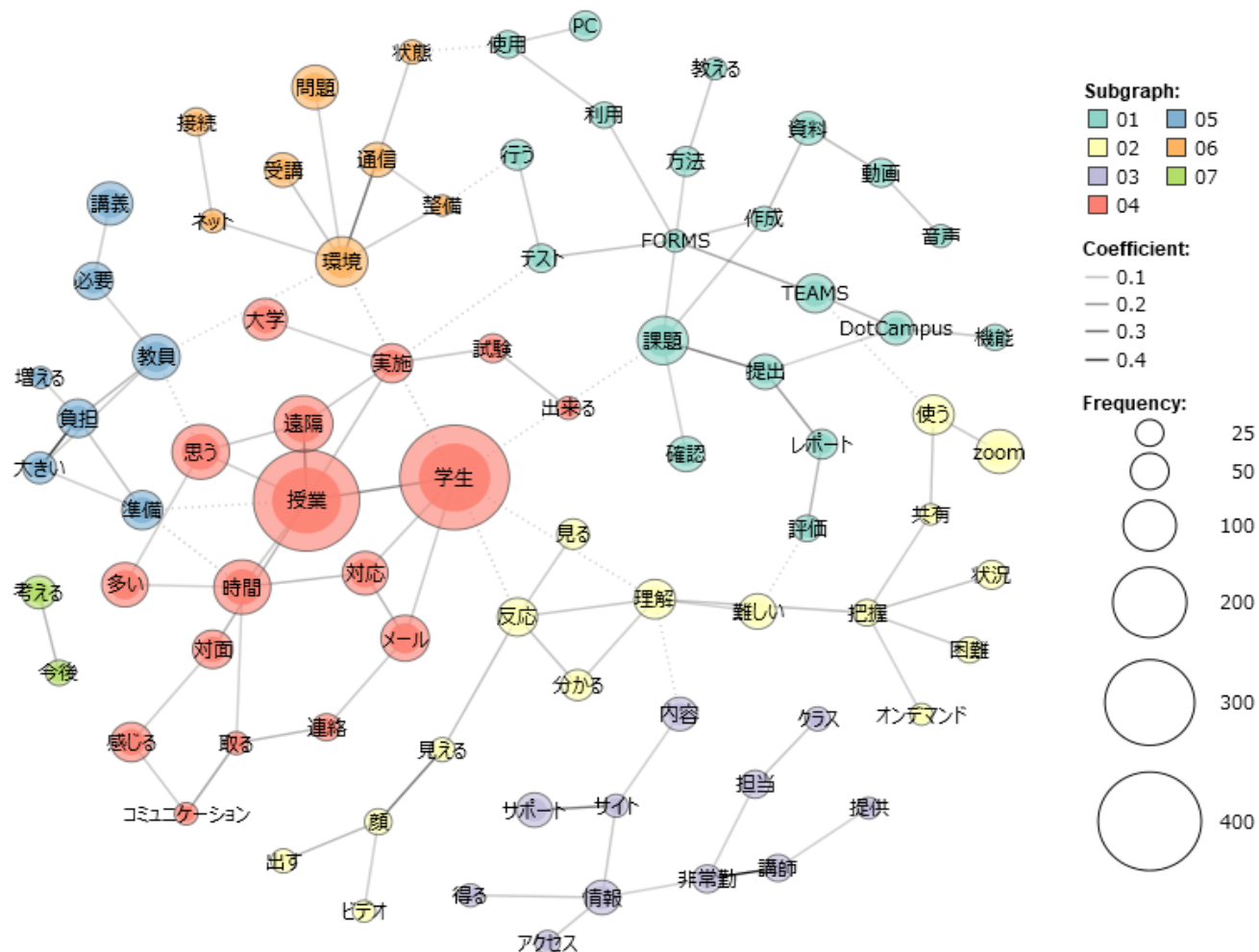
問.20 その他、遠隔授業を実施して、困った点、改善すべき点について、ご意見等ありましたらお書きください。(300字以内)

問20「遠隔授業を実施して、困った点、改善すべき点」への自由記述では、419件の回答があった。次の【表2】【図2】のように、「学生対応・教材作成の負担増」「ICTツールの知識不足の反省」「LMSへの課題」という回答が多く寄せられ、「対面でないと授業ができない」という回答が「思っていたよりも遠隔で授業できる」より上回っている傾向にあった。
ただし、本分析では、否定的な語であっても、一部は肯定的な語で表現されていることに留意が必要である。
(例: 使いにくい → 使う 行えない → 行う 分かりにくい → 分かる など)

【表2】 問20「遠隔授業を実施して、困った点、改善すべき点」への自由記述の頻出語リスト

順位	語	出現数	順位	語	出現数	順位	語	出現数	順位	語	出現数
1	学生	453	16	感じる	59	31	受講	44	46	行う	34
2	授業	423	17	使う	59	32	情報	44	47	特に	33
3	遠隔	125	18	理解	59	33	通信	44	48	PC	32
4	思う	119	19	実施	58	34	オンライン	42	49	レポート	32
5	時間	116	20	準備	58	35	困る	42	50	方法	32
6	環境	96	21	TEAMS	57	36	内容	42	51	試験	30
7	課題	91	22	対面	56	37	DotCampus	41	52	状況	30
8	メール	82	23	負担	56	38	資料	41	53	動画	30
9	教員	80	24	反応	55	39	考える	40	54	テスト	29
10	多い	76	25	必要	52	40	システム	38	55	接続	28
11	問題	75	26	場合	51	41	質問	37	56	担当	28
12	zoom	74	27	難しい	47	42	大きい	37	57	非常勤	28
13	対応	73	28	確認	46	43	大変	37	58	使用	27
14	講義	72	29	提出	46	44	分かる	35	59	科目	26
15	大学	67	30	サポート	44	45	見る	34	60	講師	26

【図2】 問20「遠隔授業を実施して、困った点、改善すべき点」への自由記述の共起ネットワーク



回答数:419件 (個別の記載内容は非公開)

以上

【担当部署】

神奈川大学 教育支援センター

kanagawa-fd@kanagawa-u.ac.jp